

# 令和5年度 第1回アイデア発表会

文責：大仁田（龍田小）・緒方（桜木小）

6月16日（金）のアイデア発表会では、熊本市立秋津小学校の中里宏先生による「子供の対話力を把握し、高めるアイデア！5ラインズの活用」、そして熊本市立泉ヶ丘小学校の米村剛先生による「低学年でも有効活用！ICTを用いた『読むこと』の授業」の2つの発表がありました。

## 秋津小学校 中里先生の実践

授業が、意見を伝え合うだけの並行線だったり、対話の深まりが見られなかったり…。そんな中、子どもたちの「対話スキル」に目を向け、“5ラインズ”を取り入れた授業を組み立てられました。

**比較し整理する**  
共通点・相違点を探す  
似ている点・異なる点を伝える  
理由を加える・求める  
理由を言う・求める  
抽象化  
具体化する・求める  
協同的に取り組む

**対話を進める**  
新たな論点を見つめる  
（全体への問いかけ）  
アイデアを広げる  
理由や論点を議論して話し合う  
理由を言う・求める  
（個人的体験としての）事例を用いる・求める  
（1つの話題、テーマ）根拠を用いる  
求めると  
時味する

**明確にする**  
対話力を高める  
理由を加える・求める  
理由を言う・求める  
協同的に取り組む

**5ラインズ**

**比較し整理する**  
出された考えを整理する  
共通点・相違点を探す  
似ている点・異なる点を伝える  
理由を加える・求める  
理由を言う・求める  
抽象化  
具体化する・求める  
協同的に取り組む

5本のラインの説明

スキルライン	説明	含まれるスキル	発問例
協同的に取り組む	全員で考え合うために、進んで意見を出し合いやすい状況をつくる	進んで話す 受け止める 振り返る 発言を促す	「みんなの意見は？」 「どう思う？」 「みんなはどうですか？」 「みんなはどうですか？」
明確にする	自分の伝えたいことに説明を加えたり、相手の言いにくいところをしっかりと聞き出すことで疑問・理由を明確にする	説明を加える・求める 受け止める 理由を言う・求める・時味する	「○○って何？」 「○○ってどうして？」 「○○ってどうして？」 「○○ってどうして？」
考えを支える	合理的な判断をするために、理由や根拠を示したり求めたりする	理由を言う・求める・時味する 事例や根拠を示す・求める	「○○って何？」 「○○ってどうして？」 「○○ってどうして？」 「○○ってどうして？」
比較し整理する	互いの意見を整理し、共通点や相違点を伝える、かつ手探りを見つけて、考えを明確にする	共通点や相違点を伝える、受け止める 出された意見を整理する 受け止める	「○○って何？」 「○○ってどうして？」 「○○ってどうして？」 「○○ってどうして？」
対話を進める	話題や論点を確認したり、話し合いを新たに展開したりする	話し合い アイデアを広げる	「○○って何？」 「○○ってどうして？」 「○○ってどうして？」 「○○ってどうして？」

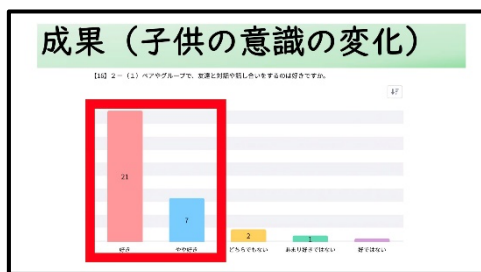
※“5ラインズ”は熊本大学教育学部准教授の北川雅浩先生が提唱されています。

5ラインズは、子どもを見取る指標として活用しつつ、子どもたち同士の対話の中で出てきた発言を価値づけていくことで、子どもたちの対話力を向上させようとして取り組まれました。また「意見のリレー」などのアクティビティを取り入れ、「伝え、聞く」という対話に必要な力を伸ばすことにも注力されました。結果として、話し合い活動が好きな子どもが増え、子どもが自らの成長を実感することにもつながりました。

教師が自分の受け持つクラスの実態を把握しながら、「どんな力をつけさせたいか」「そのためにどんな活動を行うか」など考えるために、5ラインズはとても効果的だと感じました。  
中里先生、ご発表ありがとうございました。

視点② 5ラインズの目標設定に基づいた授業づくり及び価値づけの工夫

比較し整理する・明確にする発言  
～さんの意見の～と同じで…  
ちよとちがって…



「比較し整理する」ラインを伸ばすアクティビティ「意見のリレー」

「同じ」「ちがう」でつながってるからリレーできてるね  
私は大好きだ（理由）  
私も○○さんと同じで好きだ、だって…  
私は○○さんと同じで好きだ、だって…  
私は○○さんと同じで好きだ、だって…

## 泉ヶ丘小学校 米村先生の実践

ICTを活用しようとは思っているものの、「1年生には難しくないか…、学びが深まるのか…」など、なかなか手をつけづらいと悩んでいる先生方もいらっしゃるのではないのでしょうか。そんな中、米村先生は「おとうとねずみ チロ」を題材に、「低学年でもやってみよう！」と前向きに挑戦されていました。

導入では、校長先生から学級宛てのお手紙をもらい、嬉しいと思った自分たちの気持ちとチロの気持ちを比べることで、疑問と目的意識をもつことができたようです。学びのゴールが明確になったことで、子どもたちは毎時間の活動に見通しをもちながら取り組むことができていました。

1.単元を通して、「チロの気持ち」を自主的に考えたいと思えるようにする。

「なんで？」  
○必ず、クラス全体で確認がとれる。  
○自分の理解と取り分けられる。  
○指導書裏と英語活動の指導書裏の両方の確認がとれる。

今回は、登場人物の心情を考えて、音読を行うことをゴールに設定されており、米村先生はロイロノートのシンキングツールを活用しながらアプローチされていました。そのなかで、「キャンディチャート」をアレンジして、真ん中のチロを動かすことで、各台詞の声の大きさや速さを視覚的に捉える工夫をされていました。子どもたちが考えたカードを電子黒板に映すことで、友達との考えの違いに目を向け、そこから対話へとつなげることができ、とても効果的だと思いました。

「そんなことないよ。ほくのもあるよ。」

また、単元の振り返りにポートフォリオの作成にも取り組まれました。チロの気持ちが分かる場所に線を引いたシートや気持ちがどのように動いたかを表すシートなど、これまでの学びを1枚のカードにまとめられていました。このポートフォリオにより、学びが整理されるとともに、単元の初めと終わりの自己の変容を実感することができていました。ゴールの音読にも、声の大きさや抑揚、速さに子どもたちの学びがしっかりと反映されていました。

なんのジャンルの「チロ」

単純操作で考えの違いが明確に現れるような今回のICT活用は、低学年の子どもたちにも取り組みやすく、対話にもつながりやすいので、とても有効だと感じました。  
米村先生、ご発表ありがとうございました。

## ◎ご参加された先生方の感想を紹介します。

中里先生、米村先生、素敵な発表ありがとうございました。中里先生の5ラインズは、子どもの見取りにとっても効果的だと思いました。自分も子どもたちの実態に応じて、取り入れていきたいと思いました。一方で、アンケートを見ると、できていたかどうかの子ども意識は確かに向上していましたが、その視点を取り入れたことで、子どもたちがどのような良さを実感していたのかが気になりました。そうした実感が別の単元や学習でも使っていこうという、子どもたちの学びの変化になるかと思いました。米村先生の発表では、1年生でも使えるシンキングツールの活用がとて効果的だと思いました。低学年のうちから使うことの良さを感じておくことが大切だと思います。そして、それを使うことで何が見えてきて、音読にどう返っていったかが大事なのかと思います。あくまでも、対話を生み出す手立てとして活用していくことが大切なのかと感じました。本日は、ありがとうございました。

お二人の先生方、ありがとうございました。

中里先生

対話の5ラインズの考え方、とても参考になりました。昨年度5年生を担当していた時に、質問、反論、受容、パスの4つのスキルで対話を進めさせていました。似たような実践だなと思ったのですが、5ラインズは教師側の視点から対話を捉えられていて、とても興味深かったです。ぜひ実践してみます。

米村先生

昨年度、低学年部と一緒に授業づくりに関わらせていただき、発表内容もわかっていたのですが、素晴らしい実践は何度聞いてもいいです。いろいろな機会で、この実践を広げていただきたいと思います。また、何度も発表することで、発表内容もブラッシュアップされてくると思います。さらに6年生での実践も加わっていて、昨年度の取組が生かされていると感じました。

子供達の対話力については、一人一人の個人差が大きく、どのように指導していけばよいか、悩んでいたところでした。子どもたちが意識できるような「5ラインズ」があることで意識して対話を深め、学びを深めることにつながるのだと思いました。

ICTについては、シンキングツールの可能性に気付かされました。これまで全く活用してきませんでしたが、子どもたちと一緒に学んでいきたいと思いました。どちらも、大変勉強になりました。ありがとうございました。

対話やICT活用・シンキングツールについての実践報告、大変勉強になりました。

シンキングツールについて、先生方のお話を聞いていて、果たしてシンキングツールは筆者の論の構成を掴むために(掴む過程の中で)使うものなのか、それとも掴んだ筆者の論の構成を終末に向けてまとめるために使うものなのか、深く考えてみたいと感じました。もちろん双方向的なものなのだと思うのですが。

大変勉強になりました。今年は低学年で、これまでと違う授業に悩んでいたところでした。今回、この研修を受けて良かったです。低学年でのICTの活用の仕方を具体的に学ぶことができ、実践に繋げられそうです。また、対話が私のクラスでもなかなかできなかったのも、先生の5ラインズを使い、対話から自分の学びを深めていきたいと思います。本日はありがとうございました。

スキルにしてもツールにしても役立つと思う反面、気になるところは教科としての学びの深まりが見られたかってところだと思います。これを使ったら「子どもってこんなに変わるんだ」「学びがこんなに深まるんだ」という子どもの学びの事実が少しでも具体的な姿であると参加者側はより「使いたい」「もっと知りたい」という気持ちになるのではないかと思います。

今年度、対話のある授業を目指していこうと思っているのですが、どこから始めるのが悩んでいました。今回の中里先生の5ラインズという視点を学ぶことができ、取り組みやすくなりました。まず形から入ろうと思いました。

また、米村先生の発表のシンキングツールを用いた学習にも是非取り組んでいきたいと思います。ありがとうございました。

どちらも、すぐに活用・実行できそうなアイデアで、大変学びの多いものでした。

また、資料等もダウンロードさせていただけたことも嬉しかったです。ダウンロード可だったということは、そのまま実践させていただけたり、学校で紹介したりしてもよいのでしょうか？そこを明確にさせていただけると嬉しいです。 ※ここは、今後のアイデア発表会で確認していきます。

ありがとうございました。

初めて参加させていただいたのですが、シンキングツールなど考え付かなかった実践を聞くことができたので、大変参考になりました。

シンキングツールの出会わせ方や意見の比較の仕方など学年によって様々なので、子供たちには教え込み過ぎずに使わせていきたいなと思いました。

途中からの参加となりましたが、日々の授業実践のアイデアを紹介して頂き、感謝しています。シンキングツールの活用を児童自身が選び学んでいた姿が印象に残りました。

5ラインズ、ポートフォリオ、シンキングツールと、すぐにでも実践したくなるアイデアがたくさんでした。素敵な発表、ありがとうございました。

対話力を高めるアイデア、ICTを活用した思考ツールの活用、大変参考になりました。

お二方の先生から学ばせていただきました。ありがとうございました。

対話、ICTの活用、勉強になりました。ありがとうございました。

**先生方のご実践がとても魅力的だったので、たくさんのご意見・ご感想をいただくことができました。**

**改めて、中里先生、米村先生ご発表いただきありがとうございました。**

**略儀ながら、書面をもちまして発表のまとめとお礼のあいさつとさせていただきます。 県小国研 編集部**